

2018 年度

活動報告

No.2 (7月～10月)

◆ **国際フェスタ** : 10月14日(日) 10時～15時 in「甲府駅北口広場」

秋晴れの日、(公財)山梨県国際交流協会主催の「国際フェスタ」が開催されました。

主催者によると、当日は35の個人・団体、そして15を超える国や地域からの出演・出店・展示・活動紹介があったそうです。

会場内は「見る/聴く」「知る」「体験する」「食べる」の4コーナーに分かれ、山梨県の多文化模様を体験し、多団体の活動を知る貴重な機会となりました。

参加者数は“3000名”、大盛況でした。

「(公財)山梨県国際交流協会 提供」の写真で会場風景をご紹介します。

★「見る/聴く」



ユニタス日本語学校の学生さん



ユニタスの学生さん



アンデス伝承音楽

★「知る」



日建(地雷撤去活動紹介)



ヒポクラブ、山梨大、県立大の参加者と共に

★「体験する」



韓国文化体験



日本文化体験

★「食べる」



ドネルケバブ



ファラフェルサンド

本会は「知る」コーナーに参加、多文化交流会の写真展示等で、活動紹介を行いました。一人でも多くの方に活動を知っていただきたい、さらにはお仲間を増やしたいと願いつつ、説明に力が入ります。会場には役員 6 名を含む 16 名の会員さんが足を運び、テントを盛り上げてくれました。

また、テントを共有した 3 団体とも交流できました。何より、テントがステージに近く、演奏や踊りを間近で楽しむことができました。そして、多文化料理もしっかり味わいましたよ。

千葉さん(役員会メンバー)の参加体験記です。

国際フェスタに参加して

10/14 に甲府駅の北口で開かれた国際フェスタ。

日本語ボランティアの会も、山梨大学や県立大学、ヒッポファミリークラブの皆様と同じブースで活動を広める機会を頂きました。

会の取り組みに興味を持って下さる方、活動内容に熱心に耳を傾けて下さる方もおられ、私自身も改めて支援内容について考える時間となりました。

会場では世界各国の料理、特設舞台では台湾民族舞踊やアンデスの音楽などを楽しむことができ、国と国、人と人との繋がりを大切にしたいこのイベントでは、それぞれの国の方が自国の文化に誇りを持っている事を肌で感じる事が出来ました。

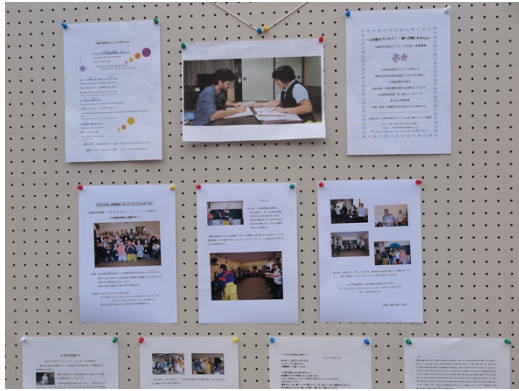
言語は生活を、心を豊かにするツールであると思います。

文字が読めたり書けたりする事は、日常生活を豊かにするだけではなく、会話を通して広がる繋がりや新しい世界が確かにあり、その繋がりを支援する活動がいかに大きな役割を担っているのかを感じました。

今回のイベントに参加されていた多くの方がそうであった様に、私も一人の日本人として日本文化の良さを伝え、心が豊かになる支援活動ができたと思います。

2018/10/14

千葉 美和



案内チラシ、レッスン風景、HP 記事など



多文化交流会の紹介など



役員会メンバー



案内チラシを手に



木陰でくつろぐ参加者たち

(写真：河内、報告：稲谷)